

小平市こども・若者の意識・実態調査 報告書【概要版】

令和7年3月  小平市
Kodaira City

調査の概要

本調査は、こども基本法第10条第2項に基づき令和7(2025)年度に策定する「(仮称) 小平市こども計画」の基礎資料とすることを目的として、実施しました。

調査手法				調査結果		
地域	小平市全域			標本数	有効回収数	有効回収率
対象		小学校5年生		1,714	1,532	89.38%
		中学校2年生		1,462	1,199	82.01%
	16歳以上 29歳以下の市民	高校生年代	16～18歳	1,000	372	37.20%
		学生・一般	18～22歳・22～29歳	2,000	483	24.15%
抽出	小学校5年生、中学校2年生は全員に配付 市民は住民基本台帳からの無作為抽出					
方法	インターネット調査(二次元コード読取、WEB画面にて回答)					
期間	令和6年11月26日(火)～12月16日(月)					

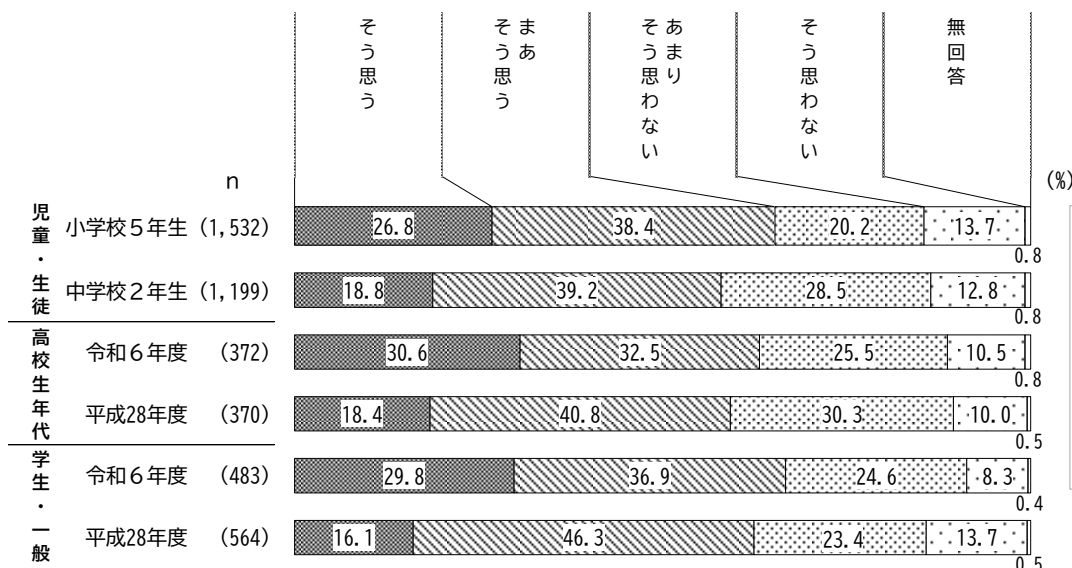
主な調査内容

・基本属性	・ヤングケアラー・若者ケアラーについて	・日頃の考え方や意識について
・家庭での生活について	・進路・就業・職業について	・将来のことについて
・日常生活について	・虐待について	・市の取組について
・普段のことについて	・非行的な行為について	
・学校での生活について	・地域社会での生活について	

自分のことについて

(本編P.72、P.14～17)

問 あなたは、「自分のことが好きだ」と思いますか。(〇は1つ)

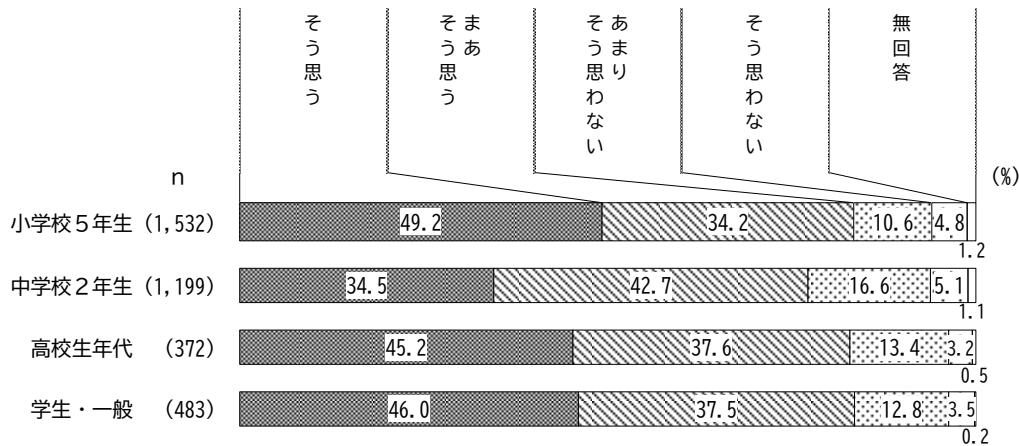


「そう思う」と「まあ思う」を合わせた割合は、こども大綱の現状値60.0%と比較して小学校5年生、学生・一般は高く、中学校2年生、高校生年代はおおむね変わらない。

※こども大綱数値目標の現状値出典 こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

問 あなたのことについて、次のことがどのくらいあてはまりますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

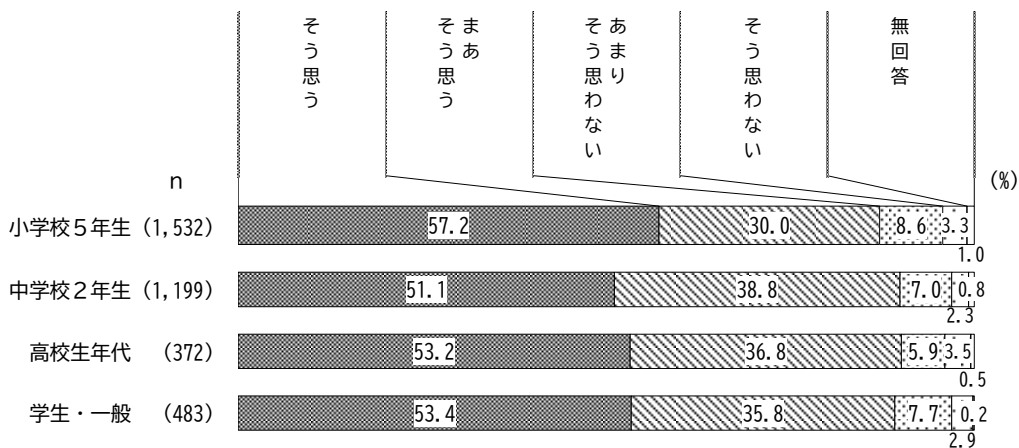
「自分には自分らしさがある」



「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、中学校2年生が7割台後半となっており、他の年代やこども大綱の現状値81.4%と比較して低くなっている。

※こども大綱数値目標の現状値出典 こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

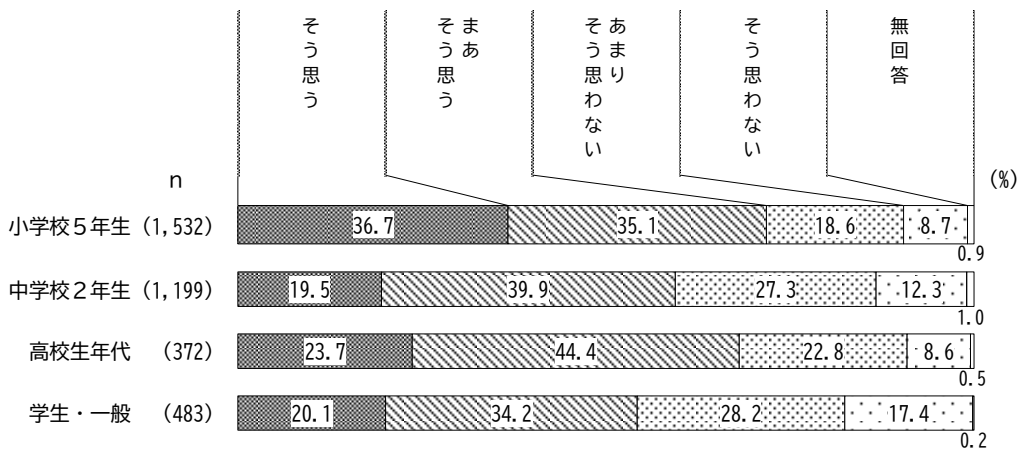
「困っているときは助けてくれる人がいる」



「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、全年代で約9割となっているがこども大綱の現状値97.1%と比較して低くなっている。

※こども大綱数値目標の現状値出典 こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

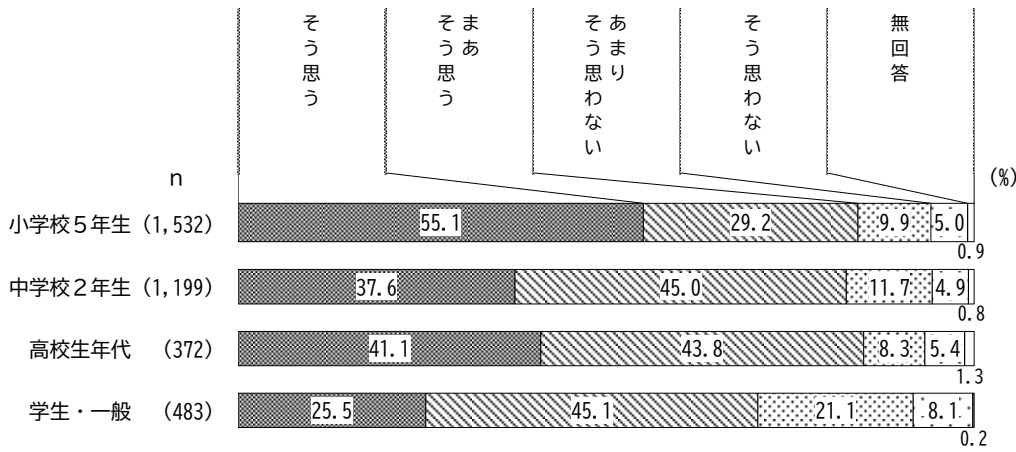
「自分の将来に明るい希望をもっている」



「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、小学校5年生で7割台前半、中学校2年生で約6割、高校生年代で約7割、学生・一般で5割台となっており、こども大綱の現状値66.4%と比較して中学校2年生と学生・一般が低くなっている。

※こども大綱数値目標の現状値出典 こども家庭庁「こども・若者の意識と生活に関する調査」

「今の生活に満足している」



「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、小学校5年生、中学校2年生、高校生年代で8割台、学生・一般で7割となっており、こども大綱の現状値60.8%と比較して全年代で高くなっている。

※こども大綱数値目標の現状値出典 こども家庭庁OECD「生徒の学習到達度の調査 (PISA)」

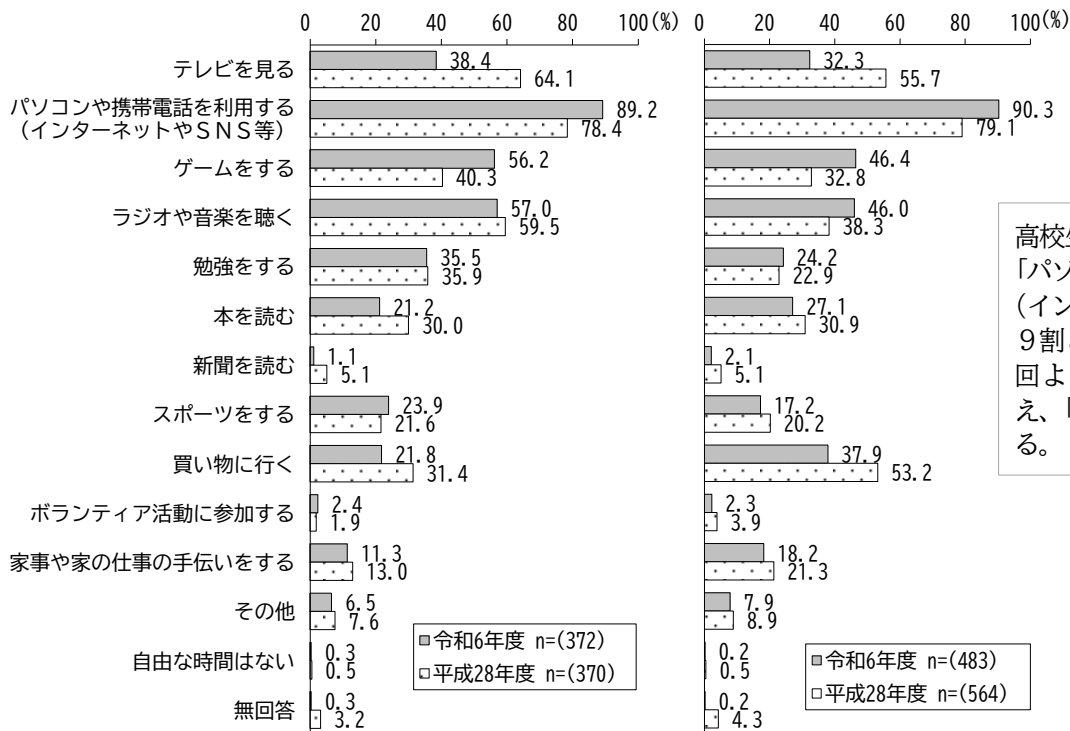
日常生活について

(本編P. 25, 27)

問 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

〈 高校生年代 〉

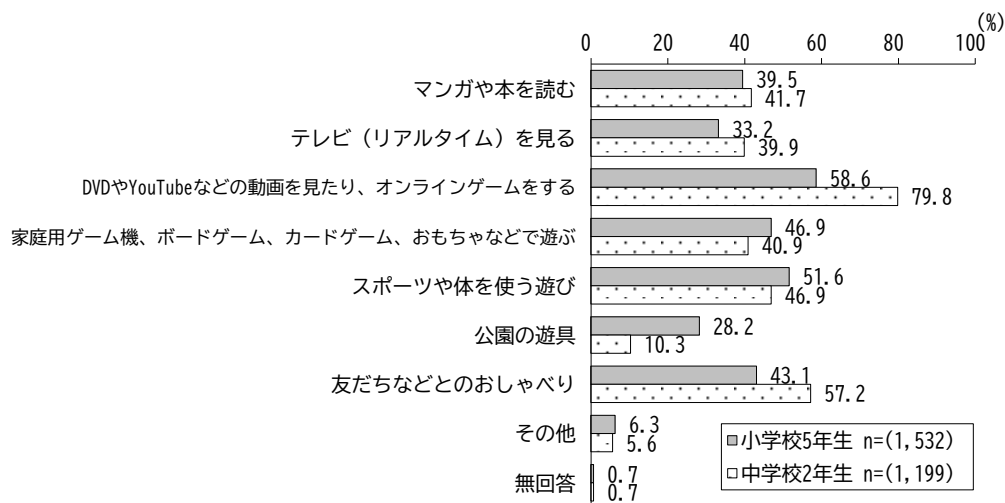
〈 学生・一般 〉



高校生年代、学生・一般ともに「パソコンや携帯電話を利用する (インターネットやSNS等)」が約9割と最も高くなっている。前回より「ゲームをする」は増え、「テレビを見る」は減っている。

問 あなたはふだん、何をして遊びますか。(〇はいくつでも)

〈 小学校5年生/中学校2年生 〉

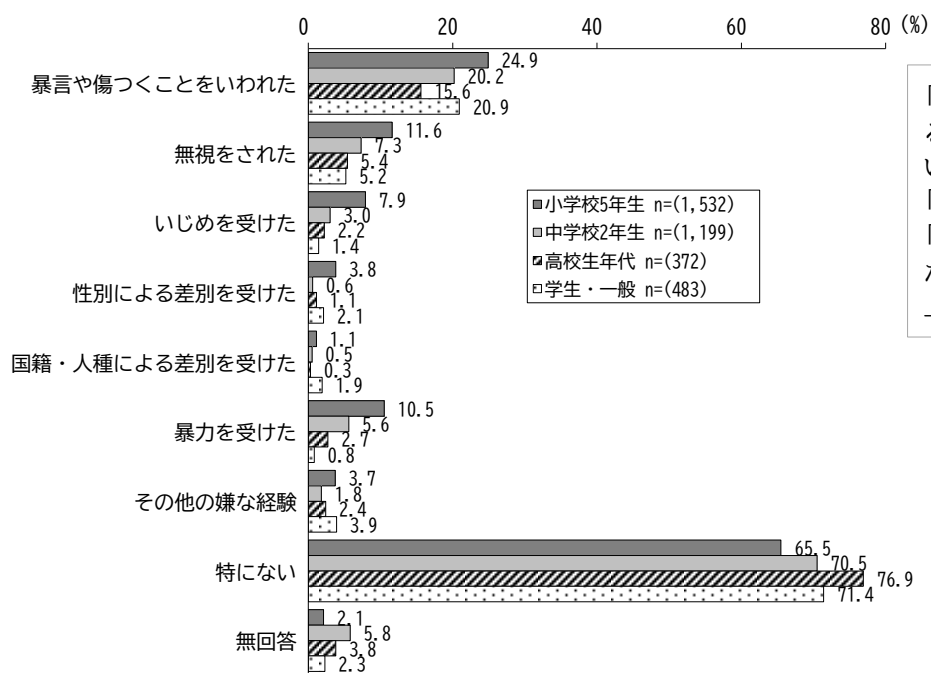


「DVDやYouTubeなどの動画を見たり、オンラインゲームをする」は、小学校5年生で5割台後半に対し、中学校2年生が約8割と差があるものの、最も高くなっている。

普段のことについて

(本編P.34)

問 あなたは、この1年くらいで次のような経験をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

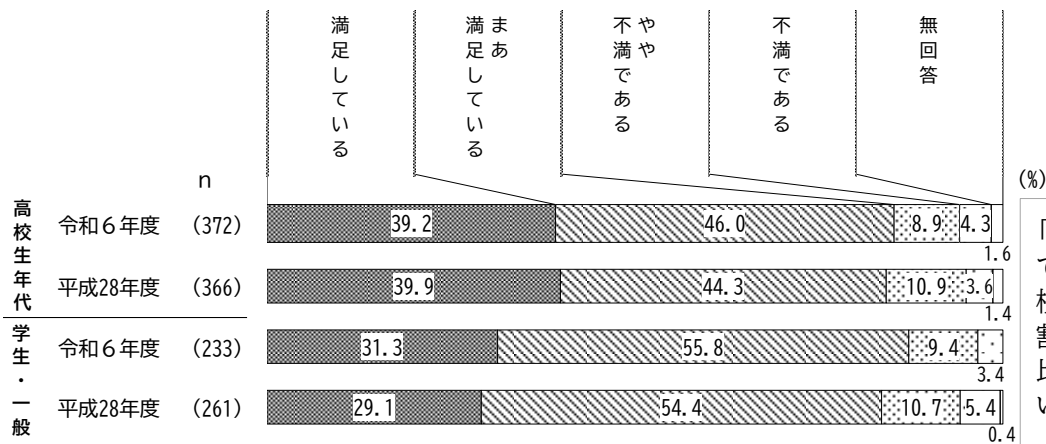


「特にない」を除くと、経験がある中では、「暴言や傷つくことをいわれた」が最も高く、次いで「無視をされた」となっている。「無視をされた」、「いじめを受けた」、「暴力を受けた」は年代が上がるほど減少傾向がある。

学校での生活について

(本編P.37～39)

問 あなたは、学校生活に満足していますか。(〇は1つ)
 〈 高校生年代/学生・一般 〉



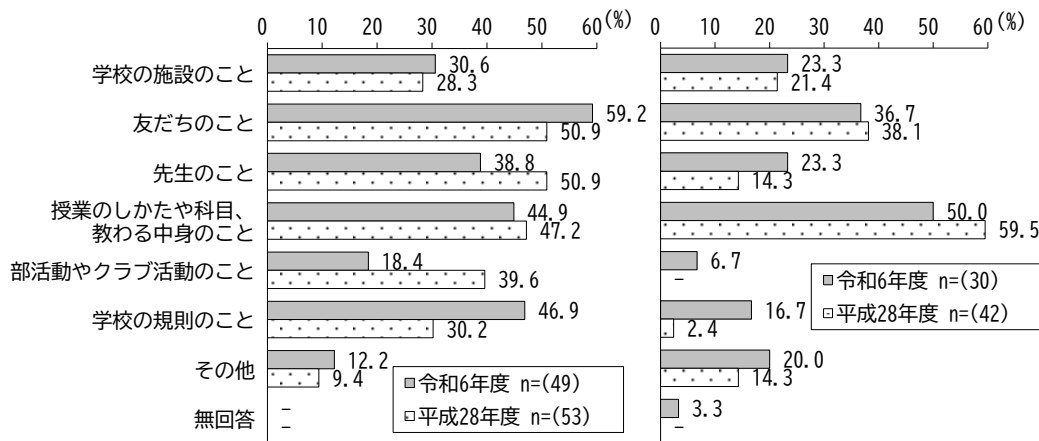
「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、高校生年代、学生・一般ともに8割台となっており、前回調査と比較しても大きな差はみられない。

【前問で「やや不満である」または「不満である」とお答えの方にはうかがいます】

問 学校生活で不満に思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

〈 高校生年代 〉

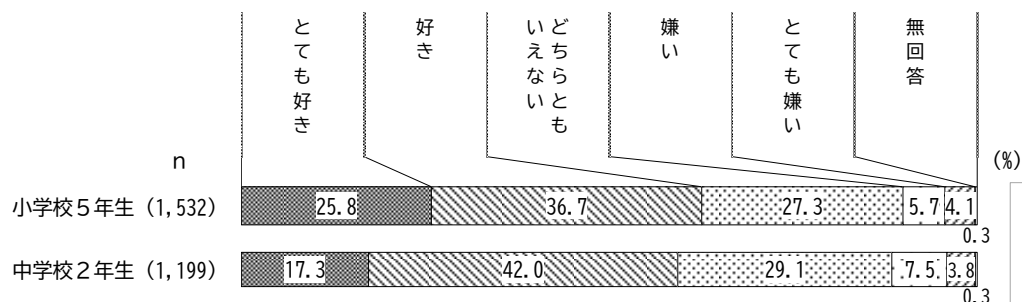
〈 学生・一般 〉



高校生年代で、「友だちのこと」が約6割、学生・一般で「授業のしかたや科目、教わる中身のこと」が約6割と最も高くなっている。「学校の規則のこと」と「友だちのこと」では高校生年代の方が高く、差がみられる。

問 あなたは、学校が好きですか。(〇は1つ)

〈 小学校5年生/中学校2年生 〉



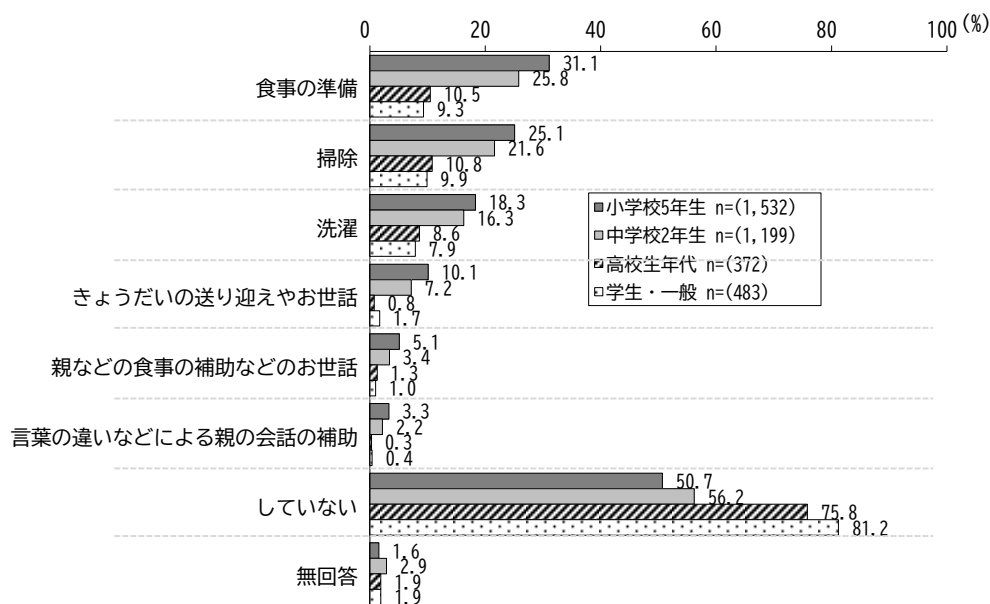
「とても好き」は中学校2年生の1割台半ばに対して小学校5年生が2割台半ばと高くなっている。「とても好き」と「好き」を合わせた割合は、ともに約6割と大きな差はみられない。

ヤングケアラー・若者ケアラーについて

(本編P.48～49)

問 大人に代わって、あなたが中心となり、次のようなことを親きょうだいなどにしていますか。(〇はいくつでも)

※ヤングケアラーとは、大人に代わって家事(食事の準備・掃除・洗濯)や家族のお世話をすることのことです。

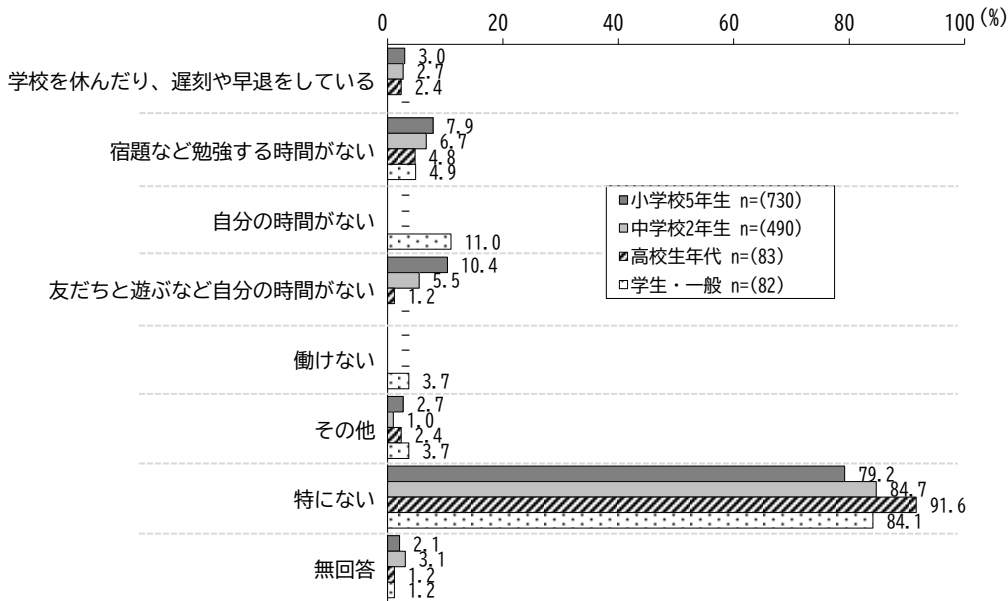


「していない」を除くと、小学校5年生と中学校2年生で「食事の準備」が、高校生年代、学生・一般で「掃除」が最も高くなっている。

【前問で「食事の準備」「掃除」「洗濯」「きょうだいの送り迎えやお世話」「親などの食事の補助などのお世話」「言葉の違いなどによる親の会話の補助」に○をつけた方にうかがいます】

問 前問の家事や家族の世話などを日ごろすることで、次のようなことがありますか。

(○はいくつでも)

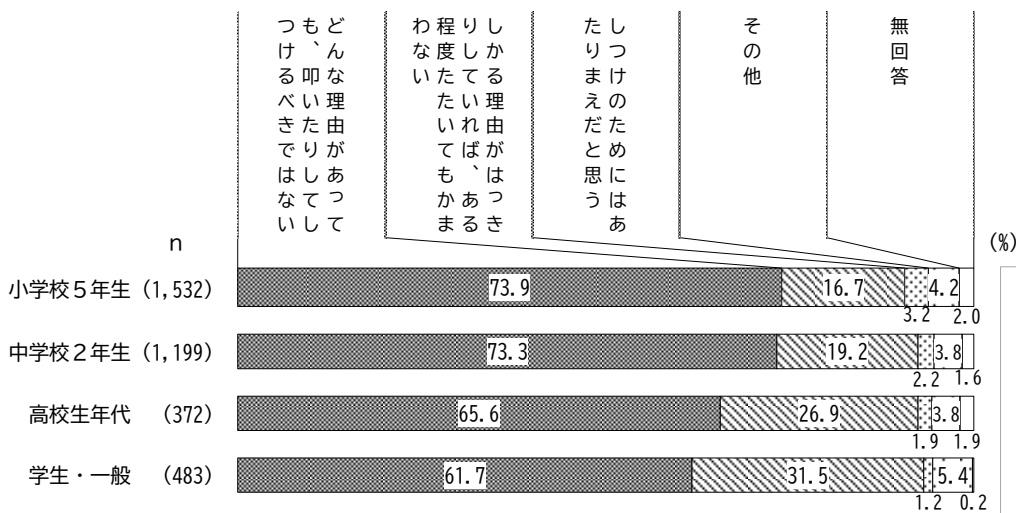


「特にない」を除くと、小学校5年生は「友だちと遊ぶなど自分の時間がない」、中学校2年生と高校生年代で「宿題など勉強する時間がない」、学生・一般で「自分の時間がない」が最も高くなっている。

虐待について

(本編P. 57)

問 あなたは、親が自分のこどもをしつけるのに、たたいたり、どなったりすることを、どう思いますか。(○は1つ)

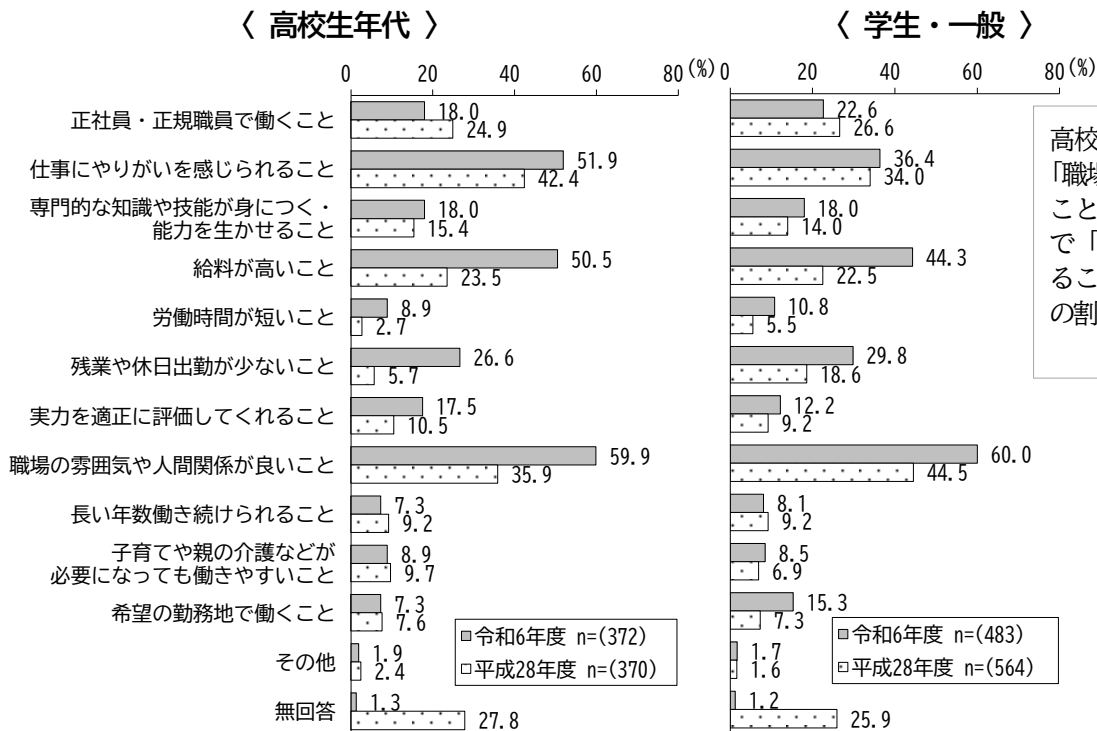


「どんな理由があっても、叩いたりしてしつけるべきではない」は、小学校5年生と中学校2年生で7割台、高校生年代と学生・一般で6割台となっており、年代が上がるほど減少傾向がある。

進路・就業・職業について

(本編P.62)

問 あなたは、仕事を選ぶ際に主にどのようなことを重視しますか。(〇は3つまで)

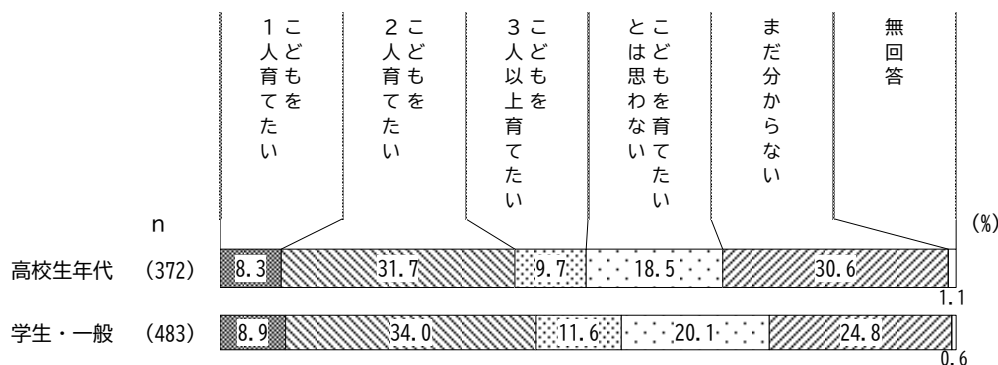


高校生年代、学生・一般ともに「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が6割と最も高く、次いで「仕事にやりがいを感じられること」や「給料が高いこと」の割合が高くなっている。

将来のことについて

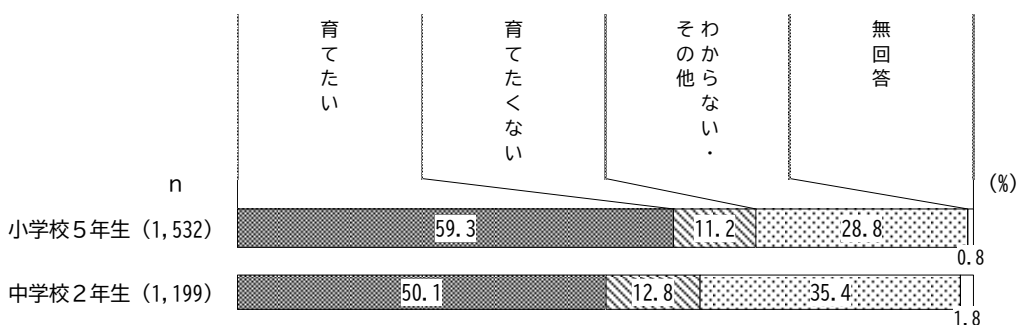
(本編P.90)

問 あなたは将来、子どもを育てたいと考えていますか。(〇は1つ)



子どもを育てたい人は高校生年代で約5割、学生・一般で5割台、育てたくないが約2割とおおむね変わらない。一方、「まだわからない」は年代が上がるほど減少傾向がある。

大人になったら子どもを



「育てたい」は、中学校2年生で5割に対して小学校5年生で約6割と高くなっている。「わからない・その他」は小学校5年生で2割台後半に対して中学校2年生で3割台半ばと高くなっている。